

「長崎県周産期支援システム「すくすく」の実態調査とシステムの活用」 に関する情報公開について

2014年7月から2025年12月までの間に、長崎県周産期支援システム「すくすく」に参加された産科施設、およびお産の登録をされた女性のみなさまへ

対象となる方は、2014年7月から2025年12月までの間に、長崎県周産期支援システム『すくすく』にお産の登録をされた女性となります。研究にデータを使用してほしくない場合は、2026年2月28日までに以下の【お問い合わせ先】QRコードよりご連絡をお願いします。

今回、2014年7月から2025年12月までの間に、長崎県周産期支援システム「すくすく」に登録されているデータを使用させていただきたく、お願い申し上げます。

*「登録されているデータ」とは、妊婦基本情報、妊婦健診記録、検査記録、分娩記録、マタニティブルーズ、エジンバラ産後うつ病質問票、新生児記録、妊婦紹介履歴についての項目を指します。

研究の目的と意義：

近年、電子カルテをはじめとする医療情報のICT化が進展し、医療機関間で診療情報を安全かつ適切に共有できる体制の構築が求められております。長崎県では、医療情報連携ネットワーク「あじさいネット」の一部として、妊婦健診情報や出生児情報を共有する「すくすく」が運用されており、安全で質の高い地域周産期医療の提供を目指して活用が進められております。

一方で、現状では情報入力が中心となっており、集計や分析による十分な活用には至っていない状況です。そこで本研究では、「すくすく」導入時から現在までに蓄積されたデータを分析し、長崎県における周産期医療情報共有の実態と課題を明らかにいたします。これにより、今後の全施設参加型システムの発展と、より安全で効果的な周産期医療体制の構築に貢献することを目的といたします。

お約束：

この過去のデータを使用については、国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる方おひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、住所など、直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

ご自身の診療データを研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

研究責任者：

長崎大学生命医科学域保健学系 リプロダクティブヘルス分野

教授 江藤宏美

住所 〒852-8520 長崎県長崎市坂本1丁目7番1号

Email heto@nagasaki-u.ac.jp 電話番号 095-819-7922



URL: <https://questant.jp/a/sksk>